

令和6年第4回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏 名	質問順	氏 名
1	伊藤 嘉樹	8	須藤 義
2	菊池 美穂	9	畠山 由美
3	青柳 信義	10	浅野 直子
4	渡邊 俊一	11	渡邊 清美
5	出川 博一	12	佐藤 浩崇
6	小松 大介	13	畑山 和晴
7	長谷川る美		

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	1 1 月 1 5 日 (金)
受付時間	8 : 3 4

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 3 番 伊藤 嘉樹

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	伊藤 嘉樹
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 ユニバーサルデザイン及びインクルーシブ施策について

【質問要旨】－簡明に－

障害者施策は、あらゆる人の社会参加を困難にしている障壁の除去をするバリアフリーから一歩進み、性別・年齢・能力・障害等に関わらず、誰しものが利用出来る設計とするユニバーサルデザインや、あらゆる人が孤立や排除されないよう援護し、社会の構成員として包括し支え合うインクルーシブという考え方へ移行しています。

これは問題解決を望む市民の声に応える形であった旧来形式の行政対応とは違い、今後はどの自治事務においても、誰しものが様々なサービスを平等に利用し、社会参画出来るようにするものであると理解します。

改正障害者差別解消法により本年４月から合理的配慮が義務化されました。これは公共交通を含む移動手段や事業者の各種対応の柔軟化という側面だけではなく、WEBアクセシビリティの確保等も必要であると解されています。また当該法規における障害者の定義は障害者手帳を所持している方だけではなく、様々な事情により日常生活や社会生活に相当な制限を受けている方、全てであるとされています。これらを包括する施策を推進し、受容できる地域になれば、福祉に限らず様々な分野に影響し、相乗効果を発揮するものと考えます。

様々な人々が集う我が富谷市においても、時代の要求として当然の如くユニバーサルデザインやインクルーシブ等の要素を取り込んだ施策の推進が必要であると考え、以下について質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 市内の道路歩道等を含む公共施設及び、各種施策へのユニバーサルデザインやインクルーシブ等の取り込みについての現状を伺います。
- 2 バリアフリー法第２５条に基づいたバリアフリー基本構想の作成は。
- 3 障害者が各種施設のユニバーサルデザイン等に関する点検、確認をする等の活動もありますが、本市として障害当事者の積極的な参画についての見解を求めます。
- 4 公式ホームページやSNSの更新頻度、情報発信の量や管理の現状は。またデジタル庁ウェブアクセシビリティ導入ガイドブック等を参考に、各種規格への準拠は検討しているか伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	1 1 月 1 5 日 (金)
受付時間	8 : 4 7

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 7 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 小中学校区の再編成について

【質問要旨】－簡明に－

近年、少子化が進む日本の多くの地域で学区の再編成が進められていますが、本市においても課題が見えます。令和5年第1回定例会での同僚議員による同件についての一般質問から、どのような検討がなされたのでしょうか。

交通量の多い国道4号沿いを通学するとちの木や同線を横断をする上桜木、鷹乃杜の児童生徒について、進学に伴い居住地により富谷第二中学校区と日吉台中学校区に分かれる富ヶ丘小学校の児童について、また、全体的な児童生徒数の推移を見た学校規模や教員数について、どのようにお考えでしょうか。

長期的な目線に立った、教育環境の質の向上、教育資源の効率的な利用、過密過疎化の防止や地域間バランスの最適化、通学時間や安全面の改善を念頭に置き、本市の将来を担う子どもたちにとって望ましい教育環境を提供するための、適正な学校規模や学区の在り方について、検討を進めるべきと考えます。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市における学区再編成の必要性、これまでの検討状況について。
- 2 望ましい通学時間・距離、標準学級数について。
- 3 国道4号を通学路として通学する児童生徒への対応について。
- 4 国道4号富ヶ丘交差点の歩道橋建設について。
- 5 進学先が分かれる富ヶ丘小学校に通う児童への対応について。
- 6 現在、最も児童生徒数が多い小・中学校、少ない小・中学校と、人口動態の将来推計は。適正な学校規模、バランスをどのように整理していくのですか。
- 7 学区再編成の効果と課題を、どのようにとらえていますか。
- 8 当該児童生徒の意見を聴収する場や、意義をお伝えする機会の確保、また、パブリックコメント等を通じた意見の集約や、保護者や関係者との協議が必要では。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	1 1 月 1 5 日 (金)
受付時間	1 0 : 0 5

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 5 番 青柳 信義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	青柳 信義
質 問 方 式	☐ 一括 ☐ 一問一答

No. 1 質問件名 マイナンバーカード交付申請における郵便局の活用について

【質問要旨】－簡明に－

マイナンバー制度は２０１５年１０月中旬から住民票を有する、国民すべてにマイナンバーを通知することから始まり、２０１６年１月から交付が開始されました。

その後、マイナンバーカードの普及促進を図るために２０２０年にマイナポイント第１弾、２０２２年に第２弾を実施。これらのことにより、５年目を迎える２０２５年９月以降はマイナンバーカードの電子証明書更新事務の増加が予測されます。

令和５年６月、総務省自治行政局から各都道府県への事務連絡によりますと、総務省郵便局事務取扱法が改正され、マイナンバーカードの交付申請受付等に係る事務が郵便局で出来るようになりました。

郵便局への委託効果として、市役所窓口での交付申請の受付など、電子証明書関連事務の軽減をする事ができます。

更に、総務省のマイナンバーカード交付事務費補助金の対象となり、全額助成を受けることが出来、事務効率の向上も期待できることから郵便局の活用が必要と思い、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市のマイナンバーカードの交付者数を年度ごとにお伺いします。
- 2 マイナポイント第１弾が実施されてから、来年で５年目を迎えることにより、電子証明書の更新事務が予測されます。その後、第２弾の更新、更に初期の交付から１０年目を迎える時期と重なり、マイナンバーカードの更新事務の増加が予測されます。本市窓口の対応策をお伺いします。
- 3 マイナンバーカードの更新手続きを出張所で行う予定はあるのか、お伺いします。
- 4 マイナンバーカードの交付申請や受付等の事務について、郵便局の活用を検討しているのかお伺いします。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	1 1 月 1 5 日（金）
受付時間	1 0 : 4 9

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 6 番 渡邊 俊一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡 邊 俊 一
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 次期富谷市総合計画について

【質問要旨】－簡明に－

現富谷市総合計画が令和7年度に最終年度を迎えるにあたり、次期富谷市総合計画を地方創生戦略や、地下鉄泉中央駅からの鉄道延伸による我が市の人口ビジョン、国土利用計画を改定し、更なる我が市の発展と若生市長の政治理念でもあります「住みたくなるまち日本一」のまちづくりに近づける事が肝要と考えます。そのためにも、以前から提案をさせて頂いております、大清水北部地区の県有林や、あけの平北部地区からとちの木団地までの未開発の土地の利用計画の見直しを図るとともにあけの平北入口からひより台団地までの国道4号沿いの高屋敷砂押橋周辺や、コストコ入口から東洋刃物入口、一枚沖等の市街化区域への編入について、早急に取り組むよう提案をするものであります。

また、均衡の取れたまちづくりとして、太子堂や新町地区を除いた、通称北部地区や南部6区への定住が進む施策が必要であり、それに対する予算措置の計画も必要不可欠と考え、次の4問にて質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 大清水地区北部の県有林やあけの平北部地区、治部入の土地利用について次期富谷市総合計画に於いての計画があれば伺います。
- 2 国道4号沿いの土地利用計画について、あけの平北入口からひより台団地までの間、特に高屋敷砂押橋周辺やコストコ入口から東洋刃物入口までの一枚沖等の市街化区域への編入について、早急に検討される考えがないか伺います。
- 3 人口減に直面しておる北部地区（太子堂、新町地区を除く）や南部6区に定住人口が増える施策が必要と考えますが、市長の考えを伺います。
- 4 現富谷市総合計画の最終年度を迎えるにあたり、次期富谷市総合計画に於いて引き続き取り組まなければならない最大の課題について、現時点での市長の考えを伺います。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	1 1 月 1 5 日 (金)
受付時間	1 6 : 0 4

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 4 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 令和7年度予算編成方針は

【質問要旨】－簡明に－

令和7年度予算編成方針は、9月30日企画部長より通知されました。
それによると、本市の財政状況は令和5年度決算において、「市民図書館等複合施設の整備設計等業務や総合病院誘致に係る用地購入、社会保障関連経費等の増加により、実質単年度収支は赤字となり、財政調整基金残高を減らす財政運営となった。」とあります。

各部課所からの予算要求は、10月末に提出され、現在内容精査中であると推察いたします。

令和7年度重点事業の現時点想定予算規模等について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 図書館等複合施設事業は。
- 2 成田二期北工業団地に関連するインフラ整備事業は。
- 3 地球温暖化対策実行計画の推進事業は。
- 4 桜田最終処分場閉鎖事業は。
- 5 図書館司書の採用と市民図書館の蔵書計画は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 高齢化に伴う医療費の動向は

【質問要旨】－簡明に－

富谷市健康推進計画は、健康増進法第8条第2項に基づき策定し、国の計画「健康日本21（第2次）」の地方計画に位置付けられ、宮城県の計画「第2次みやぎ21健康プラン」にも考慮した計画となっています。

国・県の計画期間延長を受け、本市においても、現計画の計画期間を1年延長し、令和6年度までとなりました。なお、現計画の計画期間延長に伴い、次期計画については令和6年度中に策定し、令和7年度から開始予定としています。

私はこれまで一般質問や議会だより等で、高齢者を中心としたテーマを取り上げてきました。

本市の高齢化の進展と、それに伴う各種医療費の動向が気になるところであり、本市の見解を求めます。

【質問項目】－列 記－

- 1 介護保険特別会計における、介護給付費合計の推移と今後の動向は。
- 2 後期高齢者医療特別会計における、療養給付費の推移と今後の動向は。
- 3 本市の高齢化を見据えた施策のため、来年度予算で「調査費」を計上する意向は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	1 1 月 1 8 日 (月)
受付時間	1 0 : 2 6

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 8 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 番 小松 大介

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 本市の工業団地誘致の方向性について

【質問要旨】

高屋敷工業団地、成田二期北工業団地等、本市は積極的な工業団地誘致を進めています。税収増や、雇用拡大など、本市にとってのプラスの面もあります。しかしながら、造成による自然環境の破壊、インフラ整備、取水・排水の問題など、課題やデメリットも考えられます。既存の工業団地の誘致状況や管理状況も含めた視点から、市民が納得して本市の工業団地の在り方について知っていただく機会を作る必要があります。そして、今後の工業団地誘致において、十分な準備・検討が進んでいるか、本市のビジョンに合致しているか等、検証の意味も込めて、以下、質問いたします。

【質問項目】 一列 記一

- 1 本市における製造業企業の現状は。
- 2 高屋敷及び高屋敷西工業団地における半導体工場の取水方法及び、排水の安全性確保は。
- 3 西成田遺跡発掘調査の進捗状況は。
- 4 成田二期北工業団地の企業誘致で想定している企業数・業種は。
- 5 オーダーメイド方式から先行投資方式へ変更した理由と経緯は。
- 6 工業団地誘致におけるゼロカーボンシティとの整合性は。
- 7 本市における工業団地の今後の展望と見込まれる税収と経済効果は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	1 1 月 1 8 日 (月)
受付時間	1 1 : 4 4

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 8 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 2 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 e スポーツを活用した介護予防の取組について

【質問要旨】－簡明に－

静岡県島田市への視察を通して、e スポーツは新しい介護予防のアプローチが期待でき、身体的・精神的健康の促進、さらには、地域の若者と高齢者の交流など多世代間交流の促進の可能性も考えられると思います。以下、質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 国の高齢者社会白書の推計方法による2025年の本市の認知症患者の数とその割合は。
- 2 本市の介護予防事業の成果と課題について。
- 3 e スポーツの、「楽しみながらできる」といった新たな介護予防のアプローチについての見解は。
- 4 e スポーツを行うことによる身体的・精神的健康の促進についての見解は。
- 5 e スポーツを通じた多世代間交流についての見解は。
- 6 「介護予防」と言った観点からのe スポーツの活用について検討すべきと考えますが、見解は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 水道事業について

【質問要旨】－簡明に－

東日本大震災後も頻発する災害の中で、改めて災害時に対応した水道の計画的な更新や耐震化などが求められています。以下、質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 水道危機管理対策マニュアル策定の進捗状況について。
- 2 大崎・仙南仙塩各広域水道系の相互利用が可能となる、断水対策等の検討状況は。
- 3 上水道の管渠の耐震化の現状について。
- 4 富ヶ丘浄水場用地を、売却することになった経緯と最低売却価格の算出根拠は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	1 1 月 1 8 日 (月)
受付時間	1 3 : 4 1

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 8 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 4 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	須藤 義	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 富ヶ丘地区の中学校通学について

【質問要旨】 一簡明に一

現在、富ヶ丘小学校に通う児童のうち、富ヶ丘に住む子どもたちは中学校に入学すると最も近い富谷二中ではなく、それよりも距離の遠い日吉台中学校に通うこととなっています。そのうち中学校までの距離が最も遠いと思われる富ヶ丘一丁目付近では、日吉台中学校までの通学距離が約3kmで、徒歩では約40分かかる距離です。

こういったことから日吉台中学校では通学距離の遠い生徒に対して一定の条件下で自転車通学を認めていますが、雨や雪の日は自転車での通学が困難になることや、部活動が終了する夕方には暗くなり自転車通学は交通事故等のリスクがあることなどを理由に、富ヶ丘地区の保護者等からは長年にわたりバス通学の要望が出されています。しかし、本市では未だその有効な解決策を提示できていないため、富ヶ丘地区の保護者等は現在も朝夕に子どもの自家送迎を余儀なくされ、負担に感じている方も少なくありません。

本市では現時点でスクールバス制度はありませんので、代わりに宮城交通バスを利用しようとしても通学に適した時間の便がなく、同様に市民バスにも通学に適した便がありません。このような状況の富ヶ丘地区中学校通学については、市民バスまたはデマンド型交通での対応が実現可能ではないかと考え、以下のとおり質問します。

【質問項目】 一列 記一

- 1 市民バス増便やコース変更、またはデマンド型交通で対応することについて、見解は。
- 2 市民バスやデマンド型交通が利用可能な場合、市民バスの無料乗車券は中学生に適用されるか、見解は。
- 3 今後、通学のためにバスを自主運行する保護者団体が発足した場合、市として運行経費の助成を行う考えはあるか、見解は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	須藤 義	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 第3次富谷市行政改革の取り組みは

【質問要旨】 一簡明に一

本市では引き続き行政改革の取り組みを進めるため、令和6年に「第3次富谷市行政改革基本方針」を策定しました。また本市の総合計画でも、後期基本計画の中に「行財政経営分野の施策目標」が定められており、「主な施策内容」の1つに「職員の育成と組織体制の整備」という項目があります。

さて、「職員の育成と組織体制の整備」という点で考えますと、本市の職員数は特別職を除き令和6年4月1日時点で360人となっていますが、これは「職員1人当たりの住民数」という数値で見ますと、平成29年度の「170人」から比べて令和5年度時点では「159.8人」と改善しているものの、依然として県内市町村の中で4番目に高い数値となっています。慢性的なマンパワー不足感は職員のモチベーションを低下させ、市民サービスの低下につながる恐れがあるため、仙台市を除く県内市町村平均「105.8人」まで近づけるよう、引き続き検討を進める必要があるのではないのでしょうか。

本市が引き続き昨今の諸課題に対して的確かつ迅速に対応できる効果的な組織の機能強化に取り組み、住民サービスの向上と職員が働きやすい職場環境を実現できるよう、第3次富谷市行政改革の取り組みについて、以下のとおり質問します。

【質問項目】 一列 記一

- 1 「第3次富谷市行政改革基本方針」の中で示されている市の課題の1つ「限られた人員での創意・工夫」について、見解は。
 - ① どのような創意・工夫に取り組んでいますか。
 - ② 各課から増員の要請は出ていませんか。
 - ③ 職員の間で慢性的なマンパワー不足感はありませんか。
 - ④ 「職員1人当たりの住民数」について、仙台市を除く県内市町村平均105.8人まで近づけるよう、「富谷市職員定数条例」の見直しを行う考えはありませんか。

議 員 名	須藤 義	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 3 質問件名 富谷市D X推進のその後は

【質問要旨】－簡明に－

近年、デジタル技術を活用して業務プロセスを改善させようとする取り組み、いわゆるD X化や、情報通信技術を活用して業務の効率化や生産性向上を図ることを目指す、いわゆるI C T化が盛んに議論されています。

令和2年12月には政府が「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」を決定し、目指すべきデジタル社会のビジョンが示された他、総務省が主導して自治体情報システムの標準化・共通化も進められているところです。

これを受けて本市では、組織改編で、これまでの「情報化推進室」を「情報デジタル化推進室」と改称しデジタル化の推進に取り組んだり、富谷市デジタル化推進プロジェクト会議を設置し、システム標準化、オンライン化等に関する分科会を立ち上げ検討を進めたりするなどD Xの推進に鋭意取り組んでおり、その姿勢は大変高く評価されるべきものと言えます。

しかし一方で、個別具体的な事務業務にまでその恩恵を落とし込むまでには至っていないケースも散見され、膨大な住民データを手作業で処理するなど、時間がかかりミスも起きやすい状態での事務作業が未だに存在すると想像されます。よって組織のマンパワー不足を補って職員の負担を軽減したり、経費削減や各種申請をオンライン化することで住民サービスの向上につなげたりするためにも、早期に個別具体的な業務にD X技術を導入し検証が成されることを期待し、以下のとおり質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 「第3次富谷市行政改革基本方針」の中で「市の課題」として挙げられていた「行政分野のD Xの推進」について、個別具体的な事務業務に活用できた事例はありますか。
- 2 市民生活部や保健福祉部など膨大な住民データを扱う部署の業務において、データを手作業で処理するなど、時間がかかりミスも起きやすい状態での事務作業としてはどのようなものがありますか。
- 3 その事務作業のうち、D X技術を活用したシステムの導入により作業の効率化が図られるとすれば、予算を確保して積極的に導入を検討する考えはありますか。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	1 1 月 1 8 日 (月)
受付時間	1 3 : 4 9

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 8 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 5 番 畠山 由美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 交通支援の拡充を伺う

【質問要旨】－簡明に－

大東建託の調査で、本年も東北の住み続けたい街ランキングと、街の幸福度ランキングで第1位の2冠に輝きました。連続1位の評価を保つことは、若生市長はじめ、職員の皆様のたゆまぬ努力があつてのことと敬意を表したいと思います。

しかしながら、市民の皆様から交通の便に関して、不安や要望を多く聞きます。今後5年～10年で、高齢者の多くの方が運転免許を返納することが予想されます。それと共に、単身世帯の割合も急激に増えています。市民の生活を支える交通支援の拡充は急務です。

以上のことから、以下、質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 令和5年度「富谷市民バスアンケート調査」から、市としてどのような分析をしたのか、また、課題をお伺いします。
- 2 土日祝日の運行を要望する声を多く聞きますが、本市の見解をお伺いします。
- 3 ひより台周辺は、西友富谷店閉店に伴い、買い物が大変不便になりました。イオンバスも運行されず、市民バスにおいてもイオン富谷循環コースがありません。ぜひともコースの再検討、またはデマンド型交通路線の拡大が必要だと思いますが、見解をお伺いします。
- 4 北部黒川病院線に、黒川高校を経由の要望がありますが、見解をお伺いします。
- 5 市民バスの利用者が増えた場合、バス1台増便にかかる費用をお伺いします。
- 6 これから高齢者支援や、子育て支援として、デマンド型交通の運行拡大が必要だと思いますが、本市の見解をお伺いします。

答弁を求める者 市長

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 公共施設にW i - F i 導入を

【質問要旨】－簡明に－

コロナ禍を経てデジタル技術は社会に大きく普及しました。インターネットが生活に欠かせないものとなったいま、W i - F i 整備の重要性はますます高まっています。インバウンド需要もあり、観光地や商業施設、また公共施設など多様な場所での通信環境の整備が急務となっています。

W i - F i を市の災害対策本部や緊急避難場所に設置することで、災害発生時の情報伝達手段の確保がしやすくなります。また、オンラインでの会議にも利用できます。さらに避難場所となっている公民館や学校などにフリーW i - F i を導入することにより、普段はスマートフォン講座や、各種講座に利用するなど、様々な市民サービスの提供にもつながります。

本市の公共施設でも、これからW i - F i を活用し、利便性を高めていく取り組みが必要と考え、以下、質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 災害対策本部である市役所や、避難所となっている各公民館でのフリーW i - F i 環境は整備されていますか。
- 2 本市の公共施設を利用する方へ、利便性向上のため、フリーW i - F i 導入の見解をお伺いします。
- 3 新設する図書館等複合施設へのフリーW i - F i の導入は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 0
受付月日	1 1 月 1 8 日 (月)
受付時間	1 4 : 1 0

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 8 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 3 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年 第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 不登校の現状と課題対策・支援は

【質問要旨】－簡明に－

今般、小中学校における不登校の児童生徒数は、全国的統計によると34万6482人という発表がありました。

本市の不登校支援については、特例校の開校により、支援も拡充され保護者間の連携、相談支援体制、教育支援センター等幅広い対策・対応はありますが、増加傾向にあることは否めません。

宮城県教育委員会のコンセプトは「どこにいても誰かとつながっている」です。しかしながら、全国の統計では4割の子どもたちがどこにもつながらない現状があります。本市は「富谷市子ども未来応援プラン」を作成し、将来に繋がる多様な施策が示されています。

教育の側面から、特に本市の不登校における子どもの居場所づくりや現状と課題対策・支援について以下お伺いいたします。また、APD（聴覚情報処理障害）などの障害により、学業に支障が出る場面もあるのではないかと。情報共有についてお伺いします。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の不登校の現状と原因と課題についてどのように捉えていますか。
- 2 どこにもつながらない児童生徒の現状についてお伺いいたします。
- 3 本市以外の場所で学ぶ児童生徒への交通支援についてお伺いいたします。
- 4 民間団体事業者等との連携とオンライン学習や教育支援センター、フリースクール等への出席認定についてお伺いいたします。
- 5 現在、ひきこもりの要因に不登校が原因という結果もありますが、対策などでメタバースの導入でつなぐ取り組みなどデジタルを使った支援もあります。見解をお伺いいたします。
- 6 不登校特例校の小学校部門の検討についてお伺いいたします
- 7 APD（聴覚情報処理障害）へのご認識と把握についてお伺いいたします。

答弁を求める者 教育長

議 員 名	浅野 直子	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 市民の命を守る地域の安全対策について

【質問要旨】－簡明に－

全国的に犯罪被害や特殊詐欺被害、闇バイトの報道にかなり緊張する場面が多くなり、不安と隣り合わせのような日常も増えてきました。

地域連携や情報の共有、防犯カメラの設置、何よりも自主防犯が大事です。

本市の地域安全、自身を守る対策では情報発信に回覧・ラインやメール等の取り組みがありますが、闇バイト等の低年齢層への懸念もあり注意啓発も必要です。

各家庭においては、防犯対策に「錠と鍵」の強化、「窓ガラス等の強化」「センサーライト」などの設置があります。地域においては、防災無線等で随時情報提供し、近隣住民のコミュニケーションの強化、防犯カメラなどの設置等あらゆる手段を使いながら命を守る取り組み、環境整備が求められます。

このような状況で、自治体においては補助金の交付も行われています。

本市の地域の安全対策と市民の命を守る支援について以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 特殊詐欺、犯罪被害情報の手段について、現在の対応をお伺いいたします。
- 2 防災無線の活用についての見解をお伺いいたします。
- 3 他の自治体では、「錠と鍵」「防犯ガラスの採用・防犯フィルム」「センサーライト」など設置等に補助がありますが、本市の見解をお伺いいたします。
- 4 地域における防犯カメラ等の設置や抑止力となる地域連携の環境整備が大事であると思いますが、見解をお伺いいたします。
- 5 闇バイトの低年齢層への注意啓発など強化すべきであると考えますが見解をお伺いいたします。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 1
受付月日	1 1 月 1 9 日 (火)
受付時間	9 : 3 9

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 8 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 清美	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 入札と公契約条例について

【質問要旨】－簡明に－

全国的にも、入札の不落や不調が問題になっています。資材の不足や高騰、従業員の高齢化、担い手不足が不落や不調の要因にもなります。

また、建設業では週休２日制の導入が進められており、従来の工期の考えでは納期の遅れや、過重労働にもつながりかねません。

公契約条例は、自治体として、発注する公共工事等に従事する者の賃金、報酬の下限額を設定するものであり、契約事項に受注者が「一定基準以上の賃金を労働者に支払う」ことを義務付けた条例の制定が今後必要と考え、以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市での入札時での不落、不調の状況は。
- 2 不落、不調後の要因の分析は行っていますか。
- 3 市が発注する公共事業等で週休２日制による工期への考慮はされているのか。
- 4 公契約条例の制定の考えは。

答弁を求める者 市長

議 員 名	渡邊 清美	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 少子化への支援について

【質問要旨】－簡明に－

近年少子化のための施策が進められています。

不妊治療に対する認知は広がっていますが、流産を繰り返す「不育症」については、厚生労働省のホームページに、治療に関する取り組みがあるものの、まだ、広く知られていません。

少子化対策のさらなる支援が必要と考え、以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市での不妊治療に対する支援の現状は。
- 2 本市での不育症の取組の現状は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 2
受付月日	1 1 月 1 9 日 (火)
受付時間	1 0 : 2 9

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 2 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	佐藤 浩崇
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 こども家庭センターの設置について

【質問要旨】－簡明に－

令和6年4月1日こども家庭庁が発足しました。これを受けて市町村への設置が努力義務化されたこども家庭センターは、子どもや家庭を取り巻く問題に対応し、子ども一人ひとりの最善の利益を追求するため、母子保健と児童福祉を一体的にケアし、より包括的で効果的な政策を推進することを目的としています。市としても、この方針に沿った形で施策を推進することが求められます。そこで、本市がどのような形でこども家庭庁の設立に対応し、市民に寄り添った支援を実現するかについて質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 こども家庭センターの設置が努力義務化されたことを受けて、本市はどのような基本方針の下で施策を展開する考えですか。特に市としての独自性を持たせる取り組みや、関係機関との連携をどのように考えているかをお示してください。
- 2 本市で行われている子育て支援や教育施策において、こども家庭庁の政策に沿った形で見直しや強化を図るポイントは何ですか。既存の支援策にどのような改良や拡大を行う考えかをお示してください。
- 3 こども家庭センターが設置されることで、市内にある各関係機関との連携が重要になると考えます。本市はこれらの機関との協力体制をどのように構築し、支援の質を向上させる考えですか。
- 4 経済的困難や家庭環境に課題を抱える子どもへの支援策について、こども家庭庁の方針を踏まえて必要と考えている施策は何ですか。
- 5 子どもや家庭のニーズに基づいた政策の充実を図るため、市としてどのようにして子どもたちの声を施策に反映させていくのか、具体的な仕組みや取り組みの考えがあればお示してください。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 3
受付月日	1 1 月 1 9 日 (火)
受付時間	1 1 : 0 5

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 1 1 月 1 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 1 番 畑山 和晴

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 6 年第 4 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 特別支援学校卒業後の預かりサービスについて

【質問要旨】－簡明に－

障がいのある生徒が特別支援学校の高等部を卒業すると「放課後等デイサービス」が利用できなくなる“18歳の壁”が存在します。職種によっては急に早く就労が終わり夕方の早い時間帯に帰宅する場合もあり、その際に保護者は仕事を早退したり、場合によっては就業自体を諦めざるを得ない状況に陥る可能性もあり、実際にパートの仕事も諦めたとの声もあります。

障がいのあるお子さんがいる家族などから、この状況は非常に大変であり働くことができないなど負担が大きいと聞きます。担当課へもこれらの声は多く届いているはずですが、児童福祉法と障害者総合支援法とサービスの根拠法が変わる為、簡単には対応が難しいとは思いますが。しかし今後、医療の進歩や益々共働きの世帯の増加に伴って、日中の生活介護のニーズが増えていくことは確実です。市独自での受け入れる事業者への補助等の施策は早急に必要であると思います。

以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 特別支援学校卒業後の日中預かりについて、保護者からはどのような内容での声がありますか。
- 2 これまでの相談で実際に実行された支援策、補助等がありますか。
- 3 今後共働き世帯が増え家庭への負担は益々大きくなります。また親が亡くなった後の問題も出てきます。家庭への負担軽減につなげていくためにも、細やかな支援策、補助等市独自で行っていく必要があると思いますが、見解は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 2 質問件名 健康寿命を伸ばす取り組みについて

【質問要旨】－簡明に－

現在の本市は、まだ平均年齢が40代前半となっていますが、今後20年もすれば、40代、50代が一気に高齢者となり医療費負担が大きくなるのは目に見えています。そこで本市では、健康教室やセミナー、生活習慣病予防などの検診事業、食育の推進、コミュニティ活動や地域でのボランティア活動など様々な取り組みを行っています。また地域のスポーツイベントや高齢者向けの運動教室なども行っており、健康寿命に対する取り組みはしっかりと行われています。

今回はウォーキングの重要性に焦点を絞り質問します。私は様々なスポーツに関わっています。例えばゴルフでは80歳になる方も元気に18ホールプレイします。ボウリングでも70代、80代の方が高得点を出し10ゲーム、15ゲームをしています。話を聞くと、上手になる為に、長くプレイしたいためにウォーキングをしていますと話します。また、通院をしているという方も少ないようでした。

成田地区や明石台地区を歩くと、特に休日にウォーキングをしている老若男女を多く見ます。今年度「謎解きウォークラリー」を本市では行いました。非常に素晴らしい取り組みだと感じていました。

高齢者だけではなく、低年齢のうちから歩くことの大切さを楽しみながら学び、そして現役世代は病院にかからない将来の健康のために、もっと身近にできるウォーキングの取り組みを行うべきであると思います。

以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 ウォーキングコース(利府イオンのような)を各地区に作っては。その際に、ウォーキングのアプリ等で目標の距離数をクリアしたら、何かプレゼントを贈るなどの仕掛けがあると良いのでは。
- 2 大亀山公園全体に3コース位ウォーキングコースを作ること、大亀山公園の良さのアピールと利用者増につながり、自然に触れあいながら心と体の健康管理ができると思いますが、見解は。

答弁を求める者 市長